

地域支援日本語ニュース『こだま』バックナンバー

過去にお送りしたメールマガジン『こだま』の寄稿文を掲載しております。なお、折々のお知らせにつきましては情報が過去のものとなりましたので載せておりません。

2016.4～2017.3

号数 配信日	テーマ (カテゴリー)	タイトル 執筆者
第 295 号 2016.4.28	新年度のご挨拶	「ともに生きる」を考え、実現するために 公益社団法人国際日本語普及協会理事長 関口明子
第 296 号 2016.5.12	ともに生きる (異文化理解) (ボランティア 活動)	私の発見 実感あつての文化の差異 筑波大学大学院博士後期課程 曹 蓓蓓 (そう ばいばい) 【埼玉県】
第 297 号 2016.5.26	ともに生きる (異文化理解) (地域活動)	「私の驚き、発見」文化の違いも「異国の暮らしの魅力」 ～学校での関わり方など外国人へのサポート組織はほしい～ 新井ナートタヤ 「新井さんと北本市国際交流ラウンジ委員会」 北本市国際交流ラウンジ委員会委員長 金子行男【埼玉県】
第 298 号 2016.6.9	AJALT からの お知らせ	機関誌『AJALT』39号 発行に寄せて 編集長 埜 仁礼子
第 299 号 2016.6.23	AJALT からの お知らせ	AJALT の著作教材を活用した 2016 年度 日本語教師のための夏の教え方講習会
第 300 号 2016.7.14	ともに生きる (年少者) (地域活動)	「お互いの違いを認め合い、相手の文化も尊重する」 マヘーマー 【東京都】
第 301 号 2016.7.28	お知らせ	第 5 回「看護・介護にかかわる外国人のための日本語スピー ーチコンテスト」を開催 一般財団法人海外産業人材育成協会 (HIDA) 日本語教育 センター (JLTC)
第 302 号 2016.8.11	ともに生きる (地域活動) (外国人ママ)	「こんなこと、やっています！」～できる人が、できること を、できる形で～ いわつき国際交流会日本語プラザ代表 岩中麗子【埼玉県】
第 303 号 2016.9.8	ともに生きる (防災) (多文化共生)	‘み’んなの‘ち’からで 道を作っていきたい～ゲーム やまちあるきで高める「防災」意識～ 多文化演劇ユニット MICHI 山田久子【岐阜県】

第 304 号 2016.9.22	ともに生きる (年少者)	私の経験から今の私がある 王 露揺 (おう ろよう)
第 305 号 2016.10.13	ともに生きる (難民)	国はどこですか?～難民として生きるということ～ カディザ・ベゴム
第 306 号 2016.10.27	ともに生きる (日本語ボランティア)	日本語を教えることから広がる世界 神田和可子
第 307 号 2016.11.10	ともに生きる (地域活動) (年少者)	外国にルーツをもつ子どもたちの笑顔のために 浦山太市【東京都】
第 308 号 2016.11.24	ともに生きる (都立高校) (定時制高校)	日本語を母語としない生徒たちと高校 東京都立一橋高等学校定時制教員 角田仁【東京都】
第 309 号 2016.12.8	日本語学習の現場から (日本語教育)	中級学習者の話す力を伸ばすために 公益社団法人国際日本語普及協会 津田訓江
第 310 号 2017.1.12	ともに生きる	世界の年末年始 その 2
第 311 号 2017.1.26	ともに生きる	麻布のまちについて - 「区長と区政を語る会」に参加して- マッカーシー・モーガン【東京都】
第 312 号 2017.2.9	ともに生きる (医療通訳)	だれもが安心して医療を受けられる社会をめざして 高坂富美子【神奈川県】
第 313 号 2017.2.23	ともに生きる (年少者) (ブラジル教育支援プロジェクト)	カエルプロジェクト～ブラジルに帰国後の子どもたちをサポートするために～ 柴崎敏男
第 314 号 2017.3.9	ともに生きる (留学生)	ある留学生たちの「ちょっと一言」
第 315 号 2017.3.23	ともに生きる (難民交流)	ようこそ 私たちの町へ 本多誠【東京都】